

令和5年度 第4回 就労プロジェクト会議 議事録

日 時	令和 6年 2月 26日 (月) 午後3時～午後5時
場 所	アミューあつぎ 502
出席者	相州メンタルクリニック 株式会社千手 サンテ わーくあーつ ウェルビー本厚木駅前センター ココルポート本厚木 Office manaby 本厚木駅前事業所 県央若者サポートステーション 事務局 厚木市障がい福祉課 ゆいはあと いっぽ

1 前回プロジェクトの振り返り 資料参照

2 合理的配慮・障がい理解を伝えていく為のアイデアについての意見交換

事務局より

- ・前回プロジェクトでのアンケート集計結果や議事録の抜粋からは、合理的配慮と障がい理解に関する不安の声が多く、話題の中心だった。4月に改正障害者差別解消法が施行される事もあり、あらためて普及啓発の為のアイデアやご意見を伺えれば。

相州メンタルクリニックより

- ・当院デイケアでは月に1回企業の方に来ていただいて就労プログラムを行っているが、最近、本人が求める配慮と企業の行った対応との間にズレを感じる場面が多く、先月の就労プログラムではウェルビーさんと共同で座談会を行った。テーマが自由だった事もあり合理的配慮についても話題になったが、当事者と企業側の両者が揃った事で内容が深まり、非常に有意義な時間だったと感じている。そもそも見解の相違がある中でどちらか一方だけの声を取り上げる事で、更にズレや溝が深まる危険性があるのではないかと考えている。来て頂いているのはエージェントの方なので実際に多くの方の支援を行っており、費用は掛かるが企業側の立場での参加者が必要という事であれば紹介は可能と考えている。

事務局より

- ・企業側からの参加者が必要という事は前回会議でご指摘を頂き、進めていきたいと考えている。一方で合理的配慮と障がい理解はセットとも考えており、障がい理解を深

める事が合理的配慮の提供には必要と感じている。どのような方法で・どれだけ分かり易く障がい理解を周知出来るかを考えていく事と、企業の方にも当事者の声を直に聞きながら障がいについて考え、合理的配慮について考えて頂く機会を設ける事の2つを考えている。また、就労支援関係者が利用出来る冊子等があれば定着支援や会社訪問の際に会社の担当者に示しながら障がい理解や合理的配慮について説明出来るのではないかと考えており、その点についても検討していきたい。個人的には「合理的配慮」という言葉自体の難解さにも課題を感じており、もう少し平易な表現に代わっていき事を期待している。

コッポートより

- ・合理的配慮に関するリーフレットがあり、企業の方にはそれを活用してご説明させて頂く事が有る。話がずれてしまうが、企業の方と話をさせて頂くと担当者の方も上からの指示で手探りの中一生懸命対応されており「何処に・誰に相談すれば良いのか分からない」という悩みを抱えている。定着面談の中で話をさせて頂くとそういった声が多く聞かれる為、合理的配慮・障がい理解の推進の為には企業担当者への相談支援も有効ではないかと考えている。

コッポートより

- ・先程のアイデアに関し、新規の方のタイミングとしては入社前に機会を作って頂き、事前に資料等の準備をして企業・特に現場担当の方とすり合わせを行っている。お渡しする資料についてもご本人が積極的な開示を望まれていない場合も有る為「誰に・どこまで」開示すべきかという事についても、つき合わせながら検討している。企業担当者の異動も有る為、その際にはお渡しした資料の所在や引き継ぎの有無等を確認させて頂く事が多い。障がい者雇用経験の浅い企業に対しては、入社後に想定外の出来事が起きる事を前提に、資料の内容等を工夫しつつ認識のすり合わせを行わせて頂いている。

事務局より

- ・当事者の方には支援者にも相談出来ない様な悩みが有る事を実感しており、そういった悩みや言葉を、先程の共同座談会を拡張した様な形式で丁寧に拾い集め、将来的には一つの形にまとめて発表する事が出来れば・と考えている。座談会を見学させて頂いた際、当事者同士が自身の困り事を自由に語り合う姿が強く印象に残っており、そういった内容をイメージしている。

相州メンタルクリニックより

- ・座談会について、現在は「就活トーク」に名称を変更したが、プログラムの目的は「心を動かす」事に有り、心が動かなければ人生は変わらないと感じている。心を動かすには我々支援者よりも当事者同士の方が効果的で、支援者がリードするよりも当事者同士でやりとりし経験を語り合う事で、誰かの人生経験が誰かの学びにつながる事を目指している。

事務局より

- ・そういった場での「声や言葉」をもって、企業側に合理的配慮や障がい理解を深めて頂く為のツールを作成出来ればと考えており、特に企業側の担当者が異動等で変更になった際に役立つのではないかと感じている。発信の方法についてもデジタルでの発信が主流になりつつあり、検討していく必要を感じている。

わーくあーつより

- ・特性にも色々な表現が有り、例えば当事者の同意が得られれば作業中の様子や希望する配慮について動画を作成し、企業側に二次元コード等で視聴して頂ければ理解が進み、そういった方法で企業からの理解が得られるのであれば当事者にとってもメリットが多いのでは・と感じている。

事務局より

- ・実際に YouTube を検索すると、そういった動画も閲覧できる様になっており、配慮は必要だがアイデアとしては良いと感じている。皆にとって入り易く、楽しめる様な形で表現出来、短時間で文字情報よりも多くの情報が得られるのではないかと考えている。

コッポートより

- ・イメージとしてはポータルサイトの様な形になるのか。企業の方も情報を選べる形で様々な情報や事例を掲載するのは良いアイデアだと感じる。利用者さんだけでなく企業側からも動画編集の作業に対するニーズは高まっており、そういったスキルが就職につながった事例もある。

事務局より

- ・声の内容が異なる為、当事者の声を三障がい毎にデジタル形式で発信し、それを基に企業の方々と話し合いを行う場を設ける事を目標にしていきたい。今後は動画の内容や方式を具体的に検討していく事になると思われるが、当事者同士がどのように議論をされるかイメージが付きにくい方もいると思われ、相州メンタルさんの見学をさせて頂く事も相談させて頂きたい。当事者の「生の声」というのはとても魅力的に感じており、仕事は大変だ・という事以外の、喜びや楽しみについても同時に発信出来ればと考えている。

相州メンタルクリニックより

- ・当事者の方は、自身に関心を持ってもらえると感じる事に喜びを感じる事が多く、理解は得られると思うが、例えば座談会を行うにしても当事者の方にとって魅力がなければ心は動かない為、内容を吟味する必要がある。我々が聞きたい内容と当事者の方が語られる内容には必ずズレが有ると感じるが、語る場所が有るという事は本当に意義があると考えている。

事務局より

- ・前回会議では就労移行支援事業所の認知度向上についての議題もあり、各事業所の取組みについても話題になった。利用者の方からは就Aや就Bでの工賃額に関する問い合わせが多く、近視的に収入を得る事に焦点化されていれば、移行支援の利用に関心は有るが選択をしない方もいるのではないかと感じている。

manaby 本厚木駅前より

- ・就労移行支援を多くの方に知って頂く為のチラシ作りに現在取り組んでいる。

事務局より

- ・就労移行支援事業所については、全く知らないという方が今でもおり、アピールの必要性を感じている。

ウェルビー本厚木より

- ・町田市だったと記憶しているが、就労移行支援事業所の説明会を行っており、大和市でも開催される予定があると聞いた。そういった催しを検討しても良いと思われるがそれを拡大して就Aや就B・自立訓練も含め、それぞれの特徴を分かり易く知る事の出来る機会が有れば良いのではないかと感じている。

県央若者サポートステーションより

- ・今年、海老名市の自立支援協議会で就労系の事業所が集まって説明会が行われたと記憶しており、そういった機会は必要と感じている。このプロジェクトの方向性としては、デジタルを活用しながら当事者の声や相談機関に関する情報を集めて大きな形とし、それを企業の方にも見て頂きながら座談会や会議を開催する。そしてその場で合理的配慮や障がい者理解の推進を図るという事で良いのか。

3 来年度以降の進め方

事務局より

- ・次年度以降はタイムスケジュールを作成しそれに基づいて進行していく予定にしており、事務局内で検討したたき台を作成して提案をさせて頂く。どのタイミングでどの機関・立場の方に加わっていただくかという事についても検討していきたいと考えている。いずれにせよ参加して頂いた方がワクワクする様な・企画する我々も楽しみながら進めていける様な内容を目指していける様取り組んでいきたいと考えている。

コッポートより

- ・今後の活動に向けて、利用者や企業等の関係機関に対しアナウンスを行う事も出来ると考えており、協力させて頂く。

事務局より

- ・活動への反応や感触の確認や、企業・当事者といった参加者のプロジェクトメンバーへの推薦を含め、人選にもご協力を頂ければと考えている。

ウェルビー本厚木より

- ・開催時期についてあらためて確認をしたい。期限を決めて逆算する形で予定を立てる事で、進捗状況が共有し易くなるメリットがあると考えている。

事務局より

- ・今年度を含め2年～2年半先には完成をし、皆で視聴出来ればと考えている。来年の春か秋頃には開催できる様に準備・検討を重ねていきたいと考えている。プロジェクトとしても初めての試みになる為、試行錯誤を重ねながら進めていきたい。

事務局より

- ・福祉計画の内容との関連性があれば、今回の活動について市のホームページにバナーを貼って頂き、先程の様なポータルサイトとリンクさせて頂ける様なサポートは可能になるのか。

事務局より

- ・ホームページの話については恐らく可能と思われる。障がい者協議会自体のページが存在しており、その中で各プロジェクトの活動について議事録等も掲載している。活動内容の一環・成果としてそういったポータルサイトとリンクする事に問題は無いと考えている。

サンテより

- ・当事者の選定については数年先となると卒業される利用者の方もおり、接点が無くなる可能性がある。卒業後でも協力して頂ける方がいれば良いが、人選の方法に難しさを感じている。例えば卒業後にも事業所へ遊びに来てくれたりする方がいれば相談し易いが、そういった方はほとんどいないのが実情。

コッポートより

- ・定着支援を行っている事と、就職された方であれば退職されるまでの期間は縁が切れる事はないので相談は可能だが、一方で企画にご協力頂くにしても、土日が中心になるとと思われる。配慮を頂いているからこそ働いている方も多く、そういった方々の実情に即した話は多くの方にとって有益ではないかと考えている。

事務局より

- ・人選については、配慮も含め一定の基準を設けていく事にしたい。現在移行支援を利用されている方の中には過去に就職した経験を持つ方も多いため、当時の体験に

ついて上手くいかなかった部分について語って頂く事も考えている。色々な話を伺える様、広く人選していきたい。

4

特に無し

その他

閉 会

以上